

# 品種・前作・土壌窒素で決まる ばれいしょの窒素施肥

## 概要 Abstract

近年の国内需要の高まりによって加工用ばれいしょの国内供給量は不足しており、国産品の増産と安定供給が求められています。

そこで、①加工・生食用ばれいしょ数品種について、基肥の増肥あるいは追肥の増収効果を検討し、②トヨシロを中心とした加工用ばれいしょの規格内収量を向上させる最適窒素施肥量を算出する施肥技術を開発することを目的としました。

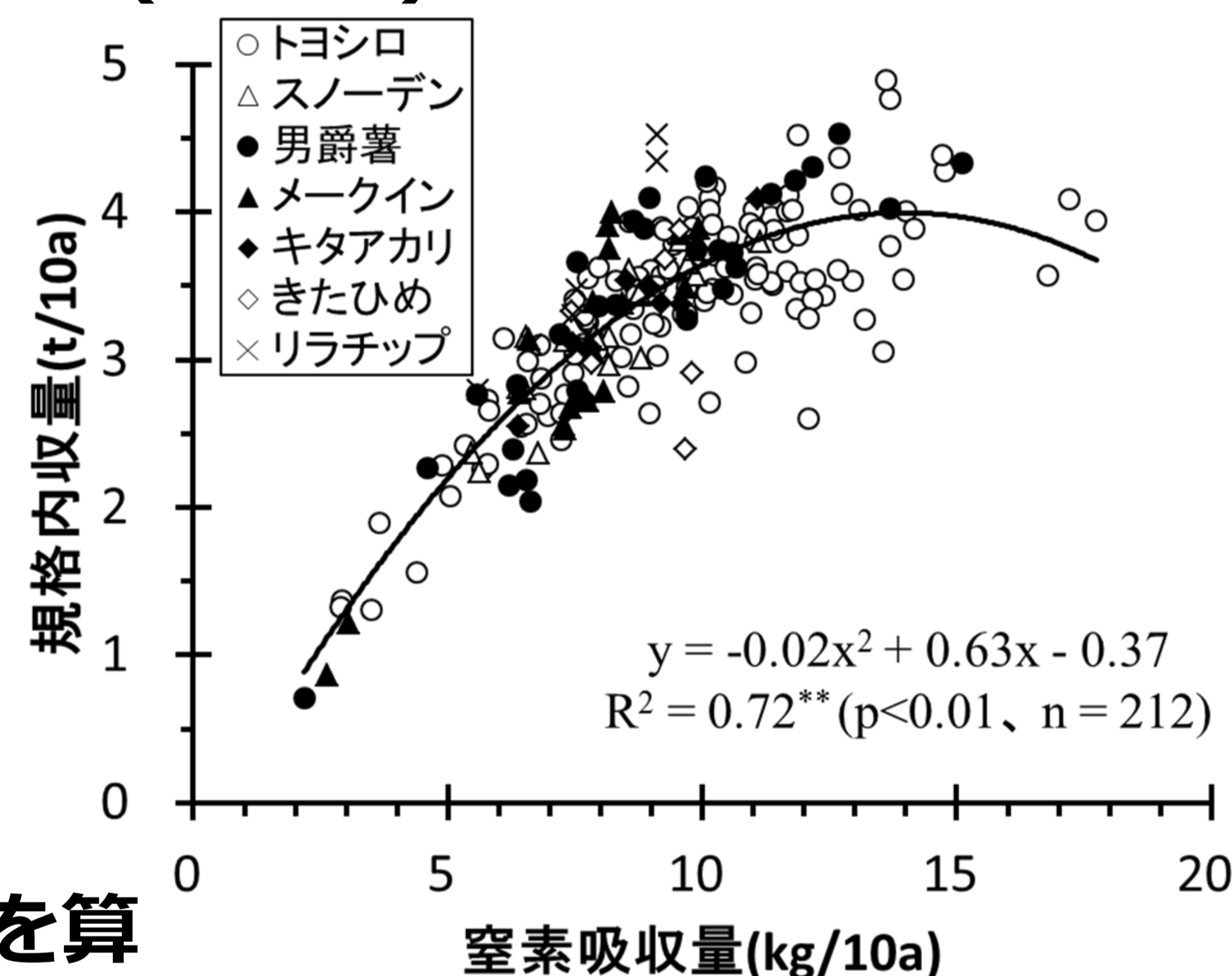


## 成果 Results

### ① 窒素の増肥に対する増収効果には品種間差があります

| 品種    | 対照区(N6)に対する増収程度(%) |         | 窒素の増肥に対する効果     |
|-------|--------------------|---------|-----------------|
|       | 基肥増肥(+N3)          | 追肥(+N3) |                 |
| スノーデン | 1~27               | 6~33    | 基肥増肥も追肥(開花始)も有効 |
| トヨシロ  | 10~21              | -6~28   | 追肥よりも基肥増肥が有効    |
| リラチップ | 18~30              | 11~25   | 追肥よりも基肥増肥が有効    |
| キタアカリ | -1~20              | 7~16    | 増肥・追肥の効果は不安定    |
| きたひめ  | -20~17             | -2~11   | 増肥・追肥の効果は不安定    |
| 男爵薯   | -3~15              | -5~11   | 増肥すべきでない        |
| メイクイン | -10~-7             | -4~3    | 増肥すべきでない        |

### ② 規格内収量は窒素吸収量(収穫期)と密接に関係します



### ③ 加工用ばれいしょの規格内収量を最大にする窒素施肥量を算出できる施肥対応を下表のように組み立てました

| 熱水抽出性窒素<br>(mg/100g) | 総窒素施肥量(kg/10a) |     |
|----------------------|----------------|-----|
|                      | てんさい跡          | その他 |
| 1, 2                 | 11             | 15  |
| 3, 4                 | 8              | 12  |
| 5, 6                 | 4              | 8   |
| 7, 8                 | 3              | 7   |
| 9, 10                | 3              | 5   |
| 11以上                 | 3              | 3   |

#### 計算例①:

熱水抽出性窒素が3.5mg/100gの圃場でてんさい後にトヨシロを作付けする場合は

総窒素施肥量8kg/10a

#### 計算例②:

熱水抽出性窒素が3.5mg/100gの圃場で大豆後にトヨシロを作付けする場合は

総窒素施肥量12kg/10a

## 普及 Dissemination

① 土壌診断に基づく窒素施肥対応は、トヨシロを主とした加工用ばれいしょ全般に適用するものです。

② 窒素供給量が高レベルであることが予想される場合には、土壌由来の窒素供給量の正確な予測は難しいため本成果の適用には特に留意する必要があります。

## 連絡先 Contact

十勝農業試験場  
研究部 生産環境グループ  
0155-62-2431  
tokachi-agri@hro.or.jp